



「ポモーヌ」2012年10月号

1. 広報媒体物の作成と広報活動

(1) 広報誌『ポモーヌ』(月1回発行)

毎月25日頃発行。館内で開催される「日比谷カレッジ」の講座・イベント情報を中心に、図書フロアからレストランなどの各種施設まで館内の主要な情報を掲載しています。

複合施設ならではの多彩な魅力をよりの確に伝えるべく平成24年9月号(8月25日発行)より判型をA4判・4ページ(二つ折り)に大判化しました。それにより、特別展などの月々のトピックスがより詳しく取り上げられると共に、館の主要部門である図書部門の情報スペースが拡大され、より多くの情報を発信できるようになりました。

館内の各フロア以外に、千代田区立図書館各館はもとより、区内各施設を始め近隣の区立図書館、博物館、美術館など約180箇所に配布しています。

(2) Web媒体

①ホームページ

「図書フロア」「ミュージアム」「特別研究室」の各種情報やお知らせと「日比谷カレッジ」の講座・イベントの告知を逐次更新しました。また、「ホール・会議室」の施設情報に加え、空き室情報を提供し、小ホール、会議室についてはWebでの予約も可能となっています。3月にはデザイン変更をし、より見やすく使いやすくなりました。

②メールマガジン

月1～2回発信。「日比谷カレッジ」の講座・イベント、図書フロアの展示などの直近情報を中心に発信しました。

③Twitter

公式Twitterをコンシェルジュが担当し、特別展、特別研究室セミナーなど館内の各種情報や日比谷公園の催事などを月平均20回発信しました。

④Facebook

「日比谷カレッジ」のお知らせや特別展などの各種館内情報を月平均6回発信しました。

(3) 館内利用ガイドパンフレット

3月に改訂版を作成しました。ショップ&カフェとレストランの運営業者の変更に伴う営業時間、メニュー等の変更や携帯電話可能エリア拡大等の情報を反映しました。

(4) ニュースリリース

特別展や映画祭を始めとする「日比谷カレッジ」の企画を中心に年16回配信しました。

2. 取材対応とパブリシティ実績

(1) 各種メディアからの45件の取材に対応

- | | | | | | |
|------------|-----|-------------------|-----|-------|-----|
| 1) テレビ・ラジオ | 10件 | 2) 新聞 | 12件 | 3) 雑誌 | 11件 |
| 4) Web | 9件 | 5) その他(会員誌、社内報など) | 3件 | | |

(2) パブリシティ実績

各種メディアで95件の露出がありました。

- | | | | | | |
|------------|-----|-------------------|-----|-------|-----|
| 1) テレビ・ラジオ | 13件 | 2) 新聞 | 43件 | 3) 雑誌 | 15件 |
| 4) Web | 16件 | 5) その他(会員誌、社内報など) | 8件 | | |

IV-1 企画部門

3. 「日比谷カレッジ」企画の実施

自主企画、共催企画併せて延べ87回開催。前年度に比べ参加率が上昇すると共に、リピーターも増えて来、事前に満席となる人気講座も出て来ました。

※各講座の実施内容は27ページ以降に掲載しました。

IV-2 運営部門

1. ホール、会議室の管理、運営

日比谷図書文化館のホール(大、小)、会議室(2室)は新たな地域文化の創出拠点として各種団体や個人の文化活動に資するための施設として位置付けられています。平成24年度は施設の認知度が上がると共に、各分野での勉強会、講演会、映画会、シンポジウムなどの利用が増え時間帯基準の稼働率も上昇しました。

2. ホール、会議室の稼働率

各施設の年間平均稼働率は下記のとおりです。

- 大ホール(日比谷コンベンションホール)…43%
- 小ホール(スタジオプラス)…61%
- セミナールームA …57%
- セミナールームB …59%
- 4施設合計……………55%

IV-3 レストラン、ショップ&カフェ

本格的レストランとおしゃれなカフェ、図書館と書店の同居など開館時より大きな話題となりましたが、本年度もメディアの取材や見学の方々に注目されました。

1. レストラン (Library Dining HIBIYA)

前年に続き季節感のある限定メニューや特別展開連のメニューなどを積極的に展開しました。また、専門家の指導を仰ぎ、接客マナーなどの店内オペレーションの改善を図りました。

しかしながら収支改善がなかなか進まないため、運営業者を変更し1月7日より新たにメニューでスタートしました。結果として収支改善の見通しが立つと共に、来館者アンケートなどに寄せられた「より安価でバラエティに富んだメニュー」を望む声に応えられるようになり、昼食時の近隣のビジネスパーソン、図書フロアやホール利用などの来館者の方々に好評を得ています。



レストラン (Library Dining HIBIYA)

IV-3 レストラン、ショップ&カフェ

2. ショップ&カフェ (Library Shop & Café HIBIYA)

(1) ショップ

江戸・東京の関連本や映画、アート関連本を中心にコンパクトな売り場ながら特徴のある品揃えがなされ、読書好きの来館者に注目されています。

6月までは前年度から引き続き、伊坂幸太郎、佐藤優、谷川俊太郎など著名作家が選書から書棚レイアウトまでプロデュースした「作家書店」を展開しました。7月より千代田区にある出版社とその主要な書籍などを紹介する書棚を展開しました。また、年4回行われた特別展や「日比谷カレッジ」に併せた関連図書のコーナーなど館内のイベント、図書フロアの展示企画などと連動した販売展開をしました。また、今年度も千代田区教育委員会や文化財室の有償刊行物の販売をおこないました。

(2) カフェ

新フードメニューの導入や館内イベントと連動した飲み物割引券発行などさまざまな形のサービスを実施し利用促進を図りました。

座席数の増加などの来館者の要望に応え、1月22日より運営業者の変更に合わせて大幅に店内を改装しました。座席数は16席から60席へと大幅に増加、またPC用電源コンセント付きの座席も設置され、ビジネスパーソン、学生などの調査、研究にいっそう役立つカフェに生まれ変わりました。



ショップ&カフェ